

2022年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	25%	75%	0%	
	2	職員の配置数は適切であるか	75%	0%	25%	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0%	100%	0%	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	0%	100%	0%	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	0%	100%	0%	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	25%	75%	0%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	100%	0%	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	50%	50%	0%	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0%	100%	0%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	
	14	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	75%	25%	0%	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	75%	25%	0%	

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	75%	25%	0%	
	17	日々の支援に関して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	50%	50%	0%	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	50%	50%	0%	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	0%	100%	0%	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	25%	75%	0%	
	21	学校と情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	50%	50%	0%	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0%	100%	0%	医療的ケアが必要な児童は今のところ受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0%	75%	25%	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0%	100%	0%	開所以来、高校生の入所はないので連携できていない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0%	75%	25%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	75%	25%	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	50%	50%	0%	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	75%	25%	0%	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0%	75%	25%	
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	25%	75%	0%	

保護者への説明責任等	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	25%	75%	0%	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	100%	0%	保護者参観は開催しているが、保護者会は開催できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	75%	25%	0%	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	50%	50%	0%	
	35	個人情報に十分注意しているか	75%	25%	0%	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	50%	50%	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	50%	50%	0%	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	75%	25%	0%	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0%	100%	0%	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	50%	50%	0%	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	50%	50%	0%	

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：

事業所名： 放課後等デイサービス 放課後等デイサービス コンパス金沢文庫第2教室

対象人数（保護者）25人 回答者数 18人 回収 72%

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	ご意見
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	6		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	4		
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	9	1	
	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	18			
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18			遠足や夏休みの工作はありがたいです。
適切な支援の提供	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	7	8	不要です コロナの影響かと思われるので、構わない。 なくともよいと思います。
	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	1		
保護者への説明等	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18			
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	3		特に助言などは求めているないので、問題ない。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	5	11	不要です コロナの影響かと思われるので、なくとも構わない。 なくとも良いです。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	6		苦情がないのでわかりません
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	2		
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	4		
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	15	3		
	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	6	2	
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	1		

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	ご意見
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	17	1		職員とも良い関係が築けているようで、毎回来しんでいる。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	17	1		おやつ時間を固定化せず、本人の基本やルーティンに合わせてもらえて満足している。
	⑲ 今後やってほしい療育はあるか	6	9	3	手先を使うプログラムをもっとやって欲しい療育ではありませんが、Hugをアプリにしたいです。 運動、キャンプなどの自然体験、お泊まり会、コグトレをやってほしいです 少し間いとは異なるかと思うが、延長料金などで、特に夏や冬休み期間は、午前中の早い時間から利用できると思う。 今の状況に満足しているのでは今のところは特にはないですがあれば次回のアンケートで記載します。 時々でよいので、サッカー等のルールあるスポーツ。 プログラミング

職員による自己評価

A環境面

・おおむね「はい」の回答が多かったが、子どもたちが大きくなった際、スペースが狭く感じることがあると思われる。

B児童への支援内容

・毎月の活動計画は、従業員全員で話し合い、内容が偏らないようにしている。
・モニタリング面談では、児童指導員が同席し、現場の様子を伝えられるようにしている。

C関係機関との連携

・学校や家庭との情報の共有や子どもの状況や課題については、話し合えてはいるが、保育園や児童発達支援事業所との連携が図れていない点が上がった。

D保護者への説明責任・信頼関係

・個人情報の取り扱いや意思疎通や情報伝達のための配慮についてはほとんど「はい」の回答であった。

保護者による評価

A環境面

・おおむね「はい」の回答が多かった。

B児童への支援内容

・放課後等デイサービス計画と、活動プログラムの非固定化については、すべての「はい」であった。
・障害のない児童との交流の機会は、「いいえ」と「どちらともいえない」が大半を占めていた。

C事業所からの情報発信

・支援の内容、利用者負担額の説明、面談、助言に関する項目はおおむね「はい」の回答が多く、肯定的な評価をいただけている。
・保護者会の開催については、「どちらともいえない」と「いいえ」の回答が多かった。

D非常対応

・非常事態に備えた訓練の開催については、月に1度行っている為、ほとんど「はい」の回答であった。

事業所内での分析

【共通点】

・説明責任や放課後等デイサービス計画については、児童発達支援管理責任者や管理者を中心にやり取りができていると感じているとわかった。
・非常事態に備えた訓練の開催は月1で行っている為、評価が一致していた。

【相違点】

・保護者会については、やらなくてよいという回答もあったが、保護者参観を中心に行ってもよいのではと職員間で話が出ている。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・その日や近日中の様子を伝え合い、一人ひとりに合った声掛け、関わり方を共有し、実行できている。
- ・非常時に対する意識があり、避難訓練の実施を確実にしている。
- ・プログラムが固定化されず、子どもたちが楽しめる中で学べるように考えることができる。

事業所の改善点

- ・パート職員へのかかわり方や声のかけ方の共有方法に課題がある。
- ・契約時に伝えている内容や運営に関することを知っている職員が少数だということに課題がある。
- ・職員解答欄の「どちらともいえない」回答が多く、共有できてないことがあった。

事業所の改善への取り組み

- ・サービス担当者会議にパート職員も参加できるように時間を設定する。
- ・サービス担当者会議に出られなかった職員にも共有が出来るように議事を作成する。
- ・運営に関する研修等行い、運営方法等共有する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

放課後等デイサービス計画やプログラムの内容に対してとても良い評価をしていただき、職員一同嬉しく思います。

また、今後行ってほしい療育もなるべく出来るよう、工夫していきます。

職員間での情報共有や個々のスキルアップなど進めていき、子どもたちが楽しみながら学べるようなよりよい事業所へとしていきます。